

S h i p
シップ

第15号
2024.3

PICK UP 企業
株式会社ヤブタ製作所

目次

- Pick up 企業／会社概要
- 技能実習生についてお聞きしました
- 新制度有識者会議最終報告書(概要)
- フレンドシップ協同組合 スタッフ紹介

株式会社ヤブタ製作所

ゴム製品の製造・加工

会社についてお聞かせください！

会社の事業案内



株式会社ヤブタ製作所
取締役社長
藪田 徳文

弊社は、豊田合成（株）、（株）中勢ゴムの下請けとして、自動車製造に使用されるゴム製品の製造・加工をしています。分かりやすい部分で言えば、ドア、ヘッドランプ、窓枠の部分を作っています。

ここで製造・加工された製品は、全国の工場だけでなく海外の工場でも使われています。今の自動車は、何より安全を大事にして製造されています。ですから、私たちの製造に関する情報も丁寧に報告する義務があります。例えば、工場内での製造担当者、機械のこと、さらには従業員の増減など、少しの変化でも報告することになっています。

こうした厳しい環境の中での作業ですが、従業員と家族に助けられながら工場経営を続けております。

製造業だからこそその悩みはありますか？

最近の求人は選ばれないと応募がありませんから、人手不足で困っています。どこの業界も同じだと思いますが、広告やハローワークに求人を出しても問い合わせがないこともあります。

イメージが先行して、製造業は「汚い、大変な仕事」とされてしまうのが悲しいですね。採用後も継続して働いてもらえるのか？明日も来てくれるのか？という不安がずっとあります。



また、自動車メーカー側にトラブルが起ると、関連工場では生産がストップしてしまいます。弊社でも対象車種だった場合、トラブルの大小に関係なく安全性が確認されるまで製造はストップします。

自動車メーカー側がカンバン方式を取り入れているので、私たちは”必要な物を、必要な時に、必要な分だけ作る”ので、先に製造することができないのです。

事前に納品のスケジュールに合わせて仕入れたり、従業員や実習生のシフトも決めているので、予定変更を余儀なくされます。

安全を第一に考えれば仕方がないことなんですけど、働いてくれる従業員や実習生のことを思うと申し訳ない気持ちになります。



工場内で働き方など工夫されていることはありますか？

自動車メーカーでは年間生産台数が決まっているので、受注に応じて製造しています。年間を通して均等に生産できればいいのですが、なかなかそういうわけにもいきません。そこで、工場内の作業におけるムダな時間を無くして、作業効率を上げることを考えて取り入れています。

一例を挙げると、製造する機械には、それぞれ必要となる工具があります。以前は、まとめて一緒に置いていたため探すのに時間がかかりました。

そこで、次男（工場長）が発案したのが「工具の位置を決める」ということ。「必要な工具は分かっているから近くに置けばいい。置く場所が決まれば元の位置に戻すから探す時間がなくなる」ということで、アイデアを出してくれて工場内で採用しました。

このアイデアは、社外でも評価され表彰されています。こうした、働く環境を改善することで、働きやすさを向上できたらしいなと思います。



今後の展望について聞かせてください。

弊社は、本当に従業員や実習生に恵まれています。繁忙期は力を合わせて頑張ってくれますし、逆に、製造がストップするような時は、状況を察して受け入れてくれます。気を使わせてしまって申し訳ないと思うのですが、こうした思いに助けられています。

だから、良い環境を維持しながら、工場を継続していきたいですね。現在は、長男が副社長ですが、いずれは4代目として事業を継承してくれます。ゆっくり過ごしたいなという思いもありますが、従業員と実習生、家族で頑張っていきたいです。



技能実習生・特定技能生について お聞きしました。

技能実習生の人数:8人 受け入れの国:中国・ミャンマー

実習生の受け入れ状況と仕事について 教えてください。

フレンドシップを紹介してもらい、平成29年より制度を利用しています。最初は、中国人の男性が1人でした。現在は、20代前半を中心に8人の実習生がいます。中国人の男性が1人、ミャンマー人の男性が2人、ミャンマー人の女性が5人です。

今後の予定としては、中国人の男性が5月に帰国します。繁忙期を見込んで、4月にはミャンマー人の男性4人が来てくれる予定です。

仕事内容は、男性には主に製品の成型を任せており、女性には製品への穴開けを任せていますが、成型の作業もできます。弊社への仕事に入る前に(株)中勢ゴムで研修を受けることが決められているので、どんな作業でも即戦力として活躍してくれます。

発注が多く忙しい時は、残業や休日出勤、夜勤などをお願いすることもあります。みんな快く引き受けてくれるので、とても助かっています。

現在、ミャンマー人の実習生が増えていますが、 どんな印象をお持ちですか？

ミャンマー人の実習生を受け入れるようになって、もうすぐ一年になります。最初は、言葉のコミュニケーションが難しかったので、表情から読み取ろうと思いましたが、逆に、自分の感情を表現することが苦手だったようで分かりませんでした。

あとでフレンドシップの通訳の方に話を聞くと、母国の内戦、治安の不安定さから常に命の危機に直面しているような状態で暮らしていたと言われました。国の状況を聞いて、感情表現が苦手だったことにも納得がいき、実習生のことが少し分かりました。

他にも生活習慣や考え方も随分と違い、全てのことを最初から教えるような状態でしたが、少しずつ表情が和らぎ、人を思う優しさに触れることができるようになったので、私たちも安心していきます。

仕事に関しては、すごく真面目です。作業で上手いかなかったことを自分で納得するまで質問をしてくる実習生もいます。次は間違えないようにという思いが伝わってきます。

そして、気持ちが優しいです。「日本へ送り出してくれた家族への仕送りのために」と頑張っている実習生ばかりです。



実習生とのエピソードを聞かせてください。

去年のクリスマスに私と妻にお揃いのマグカップ、息子たちも含めてミヤマの民芸品でしょうか、ショールとバッグをプレゼントしてくれました。この時は、本当に嬉しかったですね。来日した頃とは違い、仕事だけでなく心や生活にも余裕ができ、心を開いてくれたのかなと思いました。

日本人従業員やパートさんたちも、朝夕の挨拶などお互いが気持ちよく働ける環境作りに協力してくれるので、今は挨拶もできますし声もかけてくれます。些細なことでも気持ちが嬉しいですし、力になってあげたいと自然に思えますね。

制度を利用するようになってから、来てくれる実習生は良い人ばかりです。大変なこともあります。私たちは本当に恵まれているなと思います。

コロナ禍は控えていましたが、食事会をしたり、買い出しに連れ出したりと、生活面でもサポートをしています。誕生日やイベントに合わせてケーキやプレゼントも、アパートに出向いて手渡ししています。

弊社は、規模としては小さい会社かもしれないけど、お互いに顔が分かり、名前を覚えることができる。だから、ここにしかない良さがあることを知ってもらいたいですね。



実習生に期待していることを教えてください。

今後、制度の変更や働き方が変わっていくことが考えられますが、継続して実習生に来てもらえたらと思います。

言葉が通じないことや食の違い、生活習慣の違いなど、大変だと思うことをいろいろ経験しました。けれど、その都度、フレンドシップの担当者や通訳の方がサポートしてくれます。さらには、従業員も作業面でサポートしてくれます。

多くの方の力を借りながら、一緒に乗り越えていくことができたらと思います。



Friendship Cooperative

フレンドシップ協同組合

最終報告書（概要）

令和5年11月30日

技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議

[① 見直しに当たっての基本的な考え方]

見直しに当たっての三つの視点（ビジョン）

国際的にも理解が得られ、我が国が外国人材に選ばれる国になるよう、以下の視点に重点を置いて見直しを行う。

外国人の 人権保護

外国人の人権が保護され、労働者としての権利性を高めること

外国人の キャリアアップ

外国人がキャリアアップしつづき活躍できる分かりやすい仕組みを作ること

安全安心 ・共生社会

全ての人々が安全安心に暮らすことができる外国人との共生社会の実現に資するものとする

見直しの四つの方向性

- 1 技能実習制度を人材確保と人材育成を目的とする新たな制度とするなど、実態に即した見直しとすること
- 2 外国人材に我が国が選ばれるよう、技能・知識を段階的に向上させその結果を客観的に確認できる仕組みを設けることでキャリアパスを明確化し、新たな制度から特定技能制度への円滑な移行を図ること
- 3 人権保護の観点から、一定要件の下で本人意向の転籍を認めるとともに、監理団体等の要件厳格化や関係機関の役割の明確化等の措置を講じること
- 4 日本語能力を段階的に向上させる仕組みの構築や受入れ環境整備の取組により、共生社会の実現を目指すこと

留意事項

1 現行制度の利用者等への配慮

見直しにより、現行の技能実習制度及び特定技能制度の利用者に無用な混乱や問題が生じないように、また、不当な不利益や悪影響を被る者が生じないように、きめ細かな配慮をすること

2 地方や中小零細企業への配慮

とりわけ人手不足が深刻な地方や中小零細企業において人材確保が図られるように配慮すること

BUI VAN HAI ブイ ヴァン ハイ

- 出身国／ベトナム
- 部署／課長
- フレンドシップに入って
どのくらい／10年

□仕事内容

外国人技能実習生、特定技能生への適切な指導や管理等、受入れサポートを行っております。面接の実施、入国や配属、帰国の送迎をしています。円滑な技能実習ができるよう、3ヶ月に1度、企業において監査を行い、月に1回以上の訪問指導を実施します。

また、技能検定試験練習、試験問題の翻訳、技能実習生からの相談対応（仕事の事、日頃の生活の悩み事）や病院の付き添い、銀行手続き、市役所の手続き等通訳します。



□趣味

料理：好きな人に心を込めて手料理を作ってあげれば、喜ばれることで、自分もいい気分になるのではないのでしょうか。

写真撮影：家族や友達など大切な人、大切にしたい気持ち、楽しい瞬間も悲しい瞬間も思い出として残すことができます。一瞬一瞬の思い出を楽しみながら残すことができる素敵なことです。

その他：旅行／家庭菜園／ドライブをする。

□フレンドシップで学んだこと

フレンドシップに入社してから約10年がたち、様々なことを学ぶことが出来ました。

そのなかでも、人と人とのコミュニケーションをとるのが一番難しいと実感しています。私自身を知ってもらい、相手を知ろうとする、それが一番大切な事だと学びました。職場での人間関係を円滑にするためには、互いに尊重し合うことが大切です。

そして、企業側の考え方も実習生の気持ちや意見に対しても敬意を持ち、差し支えない範囲で柔軟な対応が必要です。

人生は思い通りにいかないこと。人間は失敗することもある、誰しも失敗はしたくないと思いますが、その代わりに成長していく。「できるか、できないか」ではなく、「やるか、やらないか」は大事です。

仕事を通じ、自分も精神的に強くなり、物事を処理する能力も身に付きました。



組合理念 世の為・人の為 人は石垣 人は城

フレンドシップ協同組合

フレンドシップ協同組合は「一人は万人の為に、万人は一人の為に」の精神の下、異業種間の総合扶助を目的に設立されました。企業であれ組合であれ、何のために組織を運営していくかという理念が必要です。その理念として「世の中の為」になる事業である事、「人の為」になる事業である事を掲げました。また、組織が大きくなるにつれ、どんなに素晴らしい理想があっても、どんなに立派な施設に入っても実行するのは人との考えが増すばかりです。人の大切さを自覚し、武田信玄公の教えに習って「人は石垣 人は城」をも併せて総合理念として掲げました。クレジットカードなどに永久不滅ポイントというのがありますが、この事業も永久不滅に継続させていきたいです。



〒460-0008

名古屋市中区栄三丁目11番31号グラスシティ栄5F

TEL: 052-262-3500 (9:00 ~ 18:00)

FAX: 052-262-3501

URL: <https://friendship.or.jp>



冊子、パンフレット、ポスター、ホームページ作成等のご検討の方はこちらまでお気軽にご連絡ください。

☎ **052-990-2751** ✉ info@les-champs.fun

[Ship No.15] / 2024年3月15日(年4回発行)、発行所/フレンドシップ協同組合、
発行人/溝渕 和典、制作・編集/株式会社レシャン出版、ライター/長谷川 祐子